

茨城県境町における

NAVYA ARMAを

活用した

まちづくり

について



茨城県境町

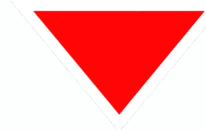


なぜ自動運転を始めたの？

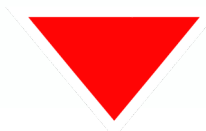


地方の課題

人口減少・高齢化



企業の撤退



空き店舗・空き家の増加



町が衰退していく！

境町の課題

鉄道がない、公共交通が脆弱



高齢者が免許返納できない

若者が東京に行きづらい



“自動運転”のバスが必要だ!!

2019年11月26日

ヤフー記事発見!!



2019年12月26日

SB ドライブ佐治社長と面談



2020年1月9日

議会で予算承認



12/26 (木)	佐治社長と面会
27 (金)	御用納め
28 (土)	年末年始休
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	
R3/1/1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	御用始め
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	令和2年第1回境町議会臨時会



全国初の取り組み

茨城県境町で
NAVYA ARMAを
3台導入・5年間運行

2020年1月15日
町民試乗会



試乗会開催時の様子

新しい技術を積極的に取り入れ安全な町にしたい

自動運転バスにより新しい仕事生まれ雇用機会になる

町の魅力の一つとして自動運転バスに期待

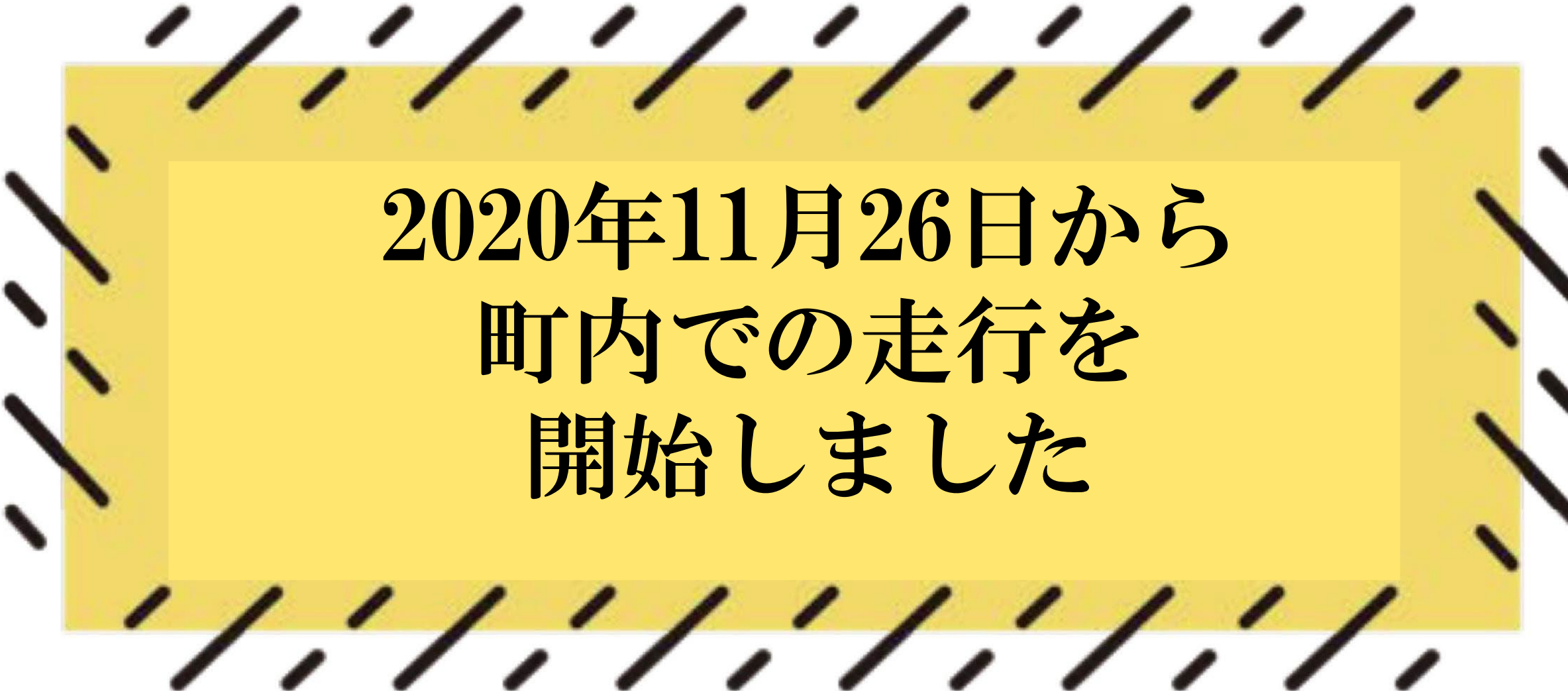
試乗会開催時の様子

自動運転バスにより
新しい仕事生まれ
雇用機会になる

親が送迎する都合に
縛られずに子供達が
習い事・部活に行ける町

新しい技術を
積極的に取り入れ
事故のない安全な町に

子連れの時にも
運転の手間を気にせずに
移動ができる町



2020年11月26日から
町内での走行を
開始しました

2020年11月25日



祝

自動運転バスによる自治体初の実用化・生活路線への導入
茨城県境町自動運転バス 出発式

2020.11.25 | 境シンパシーホールNA・KA・MA

茨城県境町

BOLDLY

MACNICA



2020年11月25日

第1ルート 運行開始

中心部の主要拠点を
効率良く循環

公道走行の様子



2020年11月16日

梶山経済産業大臣要望

公道における自動運転バスの走行に関する要望



2020年12月14日

片山さつき元地方創生担当大臣試乗





2021年2月18日

新たにバス停を 6箇所追加

2021年2月22日・24日

小学生の通学利用実証



実証の様子

けっこう
速かった

走る音が
静かだった

あっという間～！

乗り心地が
よかった

2021年4月7日

規制緩和・保安要員の撤廃

AFTER

BEFORE



B

2021年7月1日

高速バス境町-東京駅線運行開始





2021年8月2日

第2ルート
運行開始

バス停8箇所追加
土日運行開始

2022年2月7日

第1回クルマ・社会・パートナーシップ大賞 大賞受賞

第1回(2021年度)クルマ・社会・パートナーシップ大賞表彰式



2022年2月27日

トヨタ自動運転車両「e-Palette」体験試乗





2022年7月1日

第1ルート
延伸

バス停2箇所追加



Q. なぜ、フランス車なの？



A. 世界で一番走行実績があり
日本で今すぐ自動運転でき、
境町の狭い道路にも適した
バスがフランス製の
ナビヤ・アルマでした！

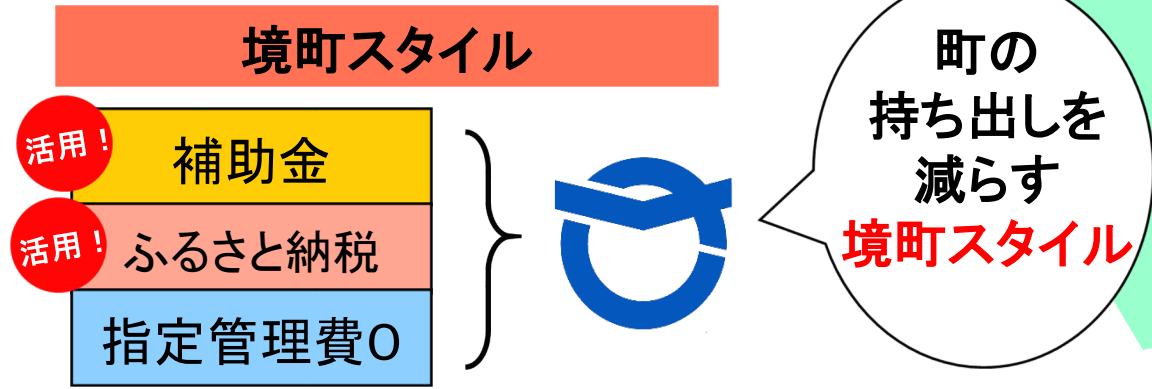
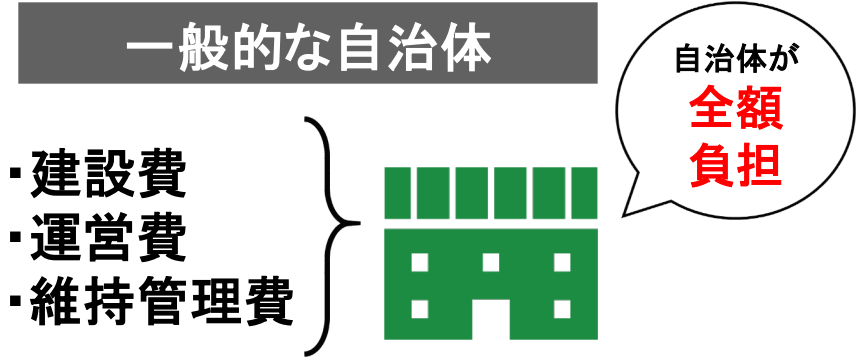




Q. 運営コストはどうしてるの？



A. ふるさと納税と補助金を活用しています。 町の持ち出しは0になる 境町モデルによる運営方式です。





Q. 事故があったらどうするの？



**A. 運行から無事故です。
国からも安定的な運行が
認められ、保安要員の
撤廃など、規制緩和
につながっています!**



また、万が一事故があっても、
自動運転バス専用保険や
救助サポート（セネック）で
安心・安全な運行を
行っていきます！



自動運転バスの効果

地域での効果

- 買い物に行けるようになった
- 塾の送り迎えがいらなくなった
- 免許を返納しても生活できる見通しがあった
- 境町に来る人が増えた
- 東京駅行き的高速バスと接続で交通が便利になった

経済効果 およそ7億円

R050227時点

- テレビで放映 **22**件
- 新聞・メディア掲載 **67**件
- 高速バス乗車数(東京駅⇔境町)
R3.9 **478**人 ⇒ R5.2.26 **31,641**人
東京からの来訪者増！
- 名古屋の会社が本社機能を境町へ移転
(予定)

法律規制の緩和効果

- さかいARMA(自動運転車)は世界で一番の走行実績とデータ提供実績がある
 - 1年間無事故で走行(継続中)
- 自動運転の免許取得が、都道府県別から全国共通に変更
 - 補助員が1名減に法律改正
 - 2023年から完全無人化へ法改正(予定)

視察実績

公的機関 団体

SDGsデジタル社会推進機構・茨城県庁・茨城県科学技術振興課・茨城県交通政策課・茨城県産業戦略部・会津若松市・関東地方整備局・岐阜市交通政策課・群馬県土地整備課・経産省PJテーマ4ワークショップ・警察庁・警視庁・県科学技術振興課・埼玉県幸手市・国土交通省・山梨県・新潟市・神奈川県山北町・神奈川県松田町・神奈川県中井町・境青年会議所・先進モビリティ・筑西市議会事務局・栃木県小山市・栃木県土整備課・板橋区役所・福井県永平寺町・北海道東川町

民間企業

ADL・ALES・DHC・ITSジャパン・JARI・JR・KADOKAWA・MONET・SBG渉外視察・SBプレイヤーズ・Tier4・UR都市機構・アークノハラ・アンデコ・すえひろがりず(TV撮影)・セネック・ソフトバンク・テレビ朝日・デロイトトーマツコンサルティング・バスグラフィック・パナソニック・ホンダ・マーケットインテリジェンス・マクニカ・モーハウス・るるぶ・茨城新聞・関東鉄道・金太郎ホーム・建築事務所・光風貴楼・公明新聞・埼玉りそな銀行・三井共同建設コンサルタント・産経BIZ・出光興産・朝日新聞・長大・東急・東洋経済・読売広告社・内閣府規制改革推進会議・日経BP・日経クロストレンド・日産・日本ミシュラン・日本交通・日本工営・日本総研・日野自動車中長期商品戦略室・毎日新聞・ブリヂストン

大学 研究機関

横浜国立大学・産業技術総合研究所・芝浦工業大学・小樽商科大学・筑波大学・明治学院大学・明治大学・国際経済研究所

補助金・交付金

3年間で総額1億5,000万円
決定

- 内閣府

「地方創生推進交付金」

- 国土交通省

「ビッグデータを活用した実証実験事業」

「ビッグデータ・自動運転バスを用いた地域経済」



2023年5月24日時点

累積乗車人数

17,250人

累積走行便数

14,610便

視察の様子



2023年5月24日時点

累積視察件数

271 団体

累積視察人数

1,489 人

町の未来像

横に動くエレベーター

Horizontal elevator



運行ルート 町民ニーズに 合わせ順次 延伸予定



MaaS アプリによる オンデマンド 運行

令和3年度開始

日本初！LINEで自動運転バス を呼べる町、誕生！

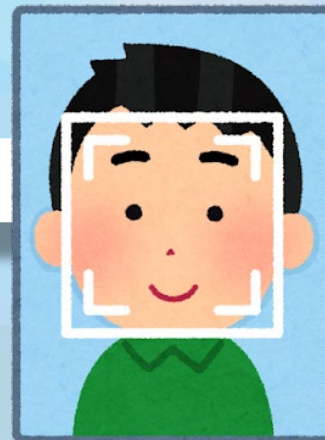


さらに
将来は

顔認証システムの導入

顔認証で
予約内容を
確認

顔認証
システム



手続きなし
非接触で
ラクラク乗車

予約

乗車



さらに
将来は

カーシェア・サイクルシェア との連動



境町版MaaSアプリ



境町から／境町への、移動がMaaSアプリで決済・予約・利用を一括利用可能に。既存の公共交通サービスを繋ぎ、さらに拡張する



5年後の未来

「誰もが生活の足に困らない町」

